

BricsCADと一体型データ変換ソフト PostScript (PDF)出力

BCD TOPST



Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部
〒221-0056
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501
URL：<http://www.kernelcomputer.co.jp>

BricsCAD を利用した変換ソフト
BricsCAD V14 ~ V18 に対応

特長

1. BricsCAD を利用して、DXF, DWG を PostScript (PDF) へ変換します。
BricsCAD の印刷機能で HP-GL/2 ドライバに出力し、その HP-GL/2 から PostScript (PDF) へ変換を行います。
2. モデル空間、ペーパー空間共に変換可能です。
3. BricsCAD データに貼り付けられたイメージデータや OFFICE 等の OLE データもそのまま変換可能です。
ただし、出力結果は使用するドライバに依存します。
4. シングルページで出力するか、マルチページで出力するかの選択が可能です。
5. 元の図面サイズを反映して変換できます。この場合は、図面にページ設定をしておく必要があります。
6. ダイアログアプリケーション (GUI) としてもバッチアプリケーション (CUI) としてもご利用できます。
7. バッチ変換による連続実行が可能です。
8. 変換時に、図面のスタイルに設定されているフォントがサポートファイルに存在するかチェックを行えます。
9. レイヤーごとに表示・非表示を設定することが可能です。
10. A 系列以外のカスタム用紙サイズ名を変換時に指定することが可能です。
11. 出力した PDF にセキュリティを設定できます。

主な編集機能

- (1) シングルページ / マルチページ変換、縮尺 / 回転 / 原点移動
- (2) モノクロ / カラー変換

注意事項

本アプリケーションを使用するには Bricsys 社製品の BricsCAD が必要です。

対応 BricsCAD

BricsCAD V14、V15、V16、V17、V18 (18.1.09 は除く)

対応 OS

Windows 7 / Windows 8 (8.1) / Windows 10 / Windows Server 2008 (R2)

※ 対応 OS はご利用される BricsCAD の対応 OS にも依存します。

標準価格

製品名	機能	標準価格 (税抜き)
BCD TOPST	BricsCAD / PostScript (PDF) 変換	35 万円

基本画面

◆ ファイル設定

入力ファイル名
出力ファイル名
ログファイル名
XML ログファイル名

参照ボタン(ファイルダイアログで指定)

変換設定ダイアログが表示
マルチページやシングルページ、
回転、拡大・縮小等の
変換設定を行います。

出力用紙サイズごとに格納先選択
変換結果を用紙サイズごとのフォルダに振り分けることが可能です。

出力用紙サイズごとの格納先選択
「格納先選択」ボタンを押すと右のダイアログが表示されます。
用紙サイズごとの格納先のフォルダを選択します。参照ボタンからの指定も可能です。

◆ 出力設定

出力対象空間指定
変換対象をモデル空間とするか、ペーパー空間とするかを指定します。

印刷領域指定
印刷領域に「図面範囲」、「窓」、「オブジェクト範囲」のいずれかを指定します。

印刷オフセット
印刷オフセットの「印刷の中心」を指定します。デフォルトで指定されています。

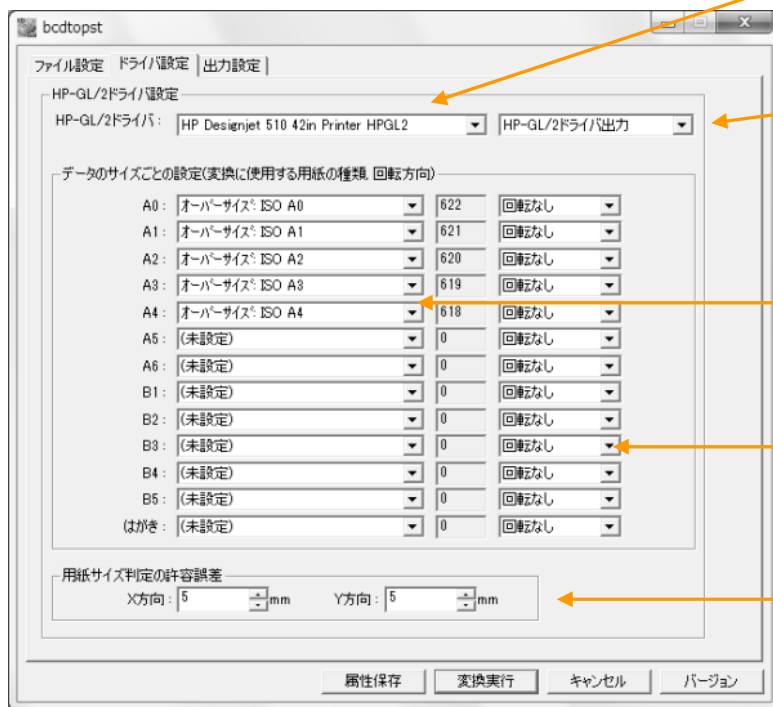
セキュリティ設定
PDF に設定するセキュリティの内容を指定します。

印刷尺度
印刷尺度を設定します。
元データに設定されている印刷尺度の使用も可能です。

レイヤー表示非表示設定
レイヤーの表示非表示を設定したテキストファイルを指定します。

窓設定
各レイアウトに最大 8 個の窓が指定できます。

◆ ドライバ設定



プリンタドライバ名
使用可能なドライバー一覧がコンボボックスに設定されています。

プリンタドライバの種類
「HP-GL/2 ドライバ」を選択します。

用紙
データの用紙サイズごとに、実際に印刷に使用する用紙を指定します。

回転設定
用紙サイズごとに結果ファイルの回転設定を行えます。

用紙サイズ判定の許容誤差
用紙サイズを判定する際の許容誤差を設定します。

※入カデータ中にある文字列について

HP-GL/2 ドライバから HP-GL/2 を出力し、弊社コンバータ「H2TOPST」により PDF への変換を行います。

入カデータに OLE で貼り付けられた Excel の文字列は「ラスターデータ」として出力され、シェイプフォントや TrueType フォントで書かれた文字列は「線分・ラスター」として、出力されます。

実行時のオプション

変換設定ボタンを押すと下のようなダイアログが表示されます。
HP-GL/2 から PostScript (PDF) へ変換する際の設定を行います。

【スケール関連】

スケール値の指定、オートスケール、A 系列用紙出力、自動用紙調整、用紙方向、トレー選択の指定を行います。

【回転】

0、90、180、270 度から回転を指定します。

【オフセット関連】

オフセット値の指定、自動原点調整、ミラー処理を指定します。

【マルチページ】

マルチページ出力、又はシングルページ出力の指定をします。

【用紙サイズ関連】

元の図面サイズを反映するか、変換結果を指定の用紙サイズに出力するか等を指定します。

【ファイル関連】

変換属性ファイルや、しおりを作成するための設定ファイルを指定します。

【その他】

部数、丁合の指定をします。



主な制限事項

- ◆ モデル空間とペーパー空間のページ設定で用紙サイズを選択(ページ設定)してください。
- ◆ 変換中に BricsCAD 画面が表示されますが、**オペレーティングを行わないでください**。
正常に変換が行われない場合があります。
もし、オペレーティングを行い BricsCAD が終了されなかった場合、特に問題はありませんが手動で BricsCAD を終了させてください。また、**非表示の状態では止まっている場合**もありますので、その場合は**タスクマネージャから BricsCAD を終了**してください。
- ◆ **AutoCAD では動作しません**。
- ◆ パラメータは大文字、小文字どちらでも指定できますが、全角文字は使えません。
また、パラメータとファイル名、ドライバ名等の間に空白を入れないでください。
- ◆ 「窓」の範囲はレイアウトごとに指定可能です。レイアウト1つにつき最大8件まで指定できます。
- ◆ サービス上での動作には対応していません。
- ◆ 本製品は処理時に“通常使うプリンタ”を変更します。本製品使用時には印刷処理を行わないようにしてください。
- ◆ WIPEOUT による空白は未対応です。
- ◆ テキストサイズが大きい場合などにテキストが正常に出力できない場合があります。
BCD 製品の設定により、テキストのアウトラインのみ出力し、輪郭だけで塗りの無い図形とすることで出力可能な場合があります。
- ◆ BricsCAD で読み込み・表示・保存が正常にできないデータや、印刷が正常にできないデータの場合は対応できません。
- ◆ 塗り図形に関しては、正常に出力できない場合があります。